

主体的・対話的で深い学びを実現する単元構想（商業科「ビジネス基礎」）
 単元名： 1年生 第4章 企業活動の基礎 第1節 ビジネスと企業（全9時間）

単元の目標
知識及び技術 <ul style="list-style-type: none"> 企業の役割や経営理念に関する基礎的・基本的な内容を理解することができる。
思考力、判断力、表現力等 <ul style="list-style-type: none"> 各企業の役割や経営理念を考察するとともに、ビジネスと企業の相互関係を捉えることができる。 複数の企業を比較し、多面的に物事を捉えることができる。
学びに向かう力、人間性等 <ul style="list-style-type: none"> グループで調査し、それぞれの生徒に役割をもたせることで、一人一人が責任感をもって取り組むことができる。 ビジネスの担い手である企業に関心をもち、商業高校での学習内容と社会との結び付きを認識することができる。 よりよい社会を形成するために、卒業後に自らがビジネスの担い手の一員になるという意識をもつことができる。

既習内容	生徒の実態と教師の願い
(1年生1学期) ・経済と流通の基礎 (1年生2学期) ・ビジネスの担い手	(実態) 多くの生徒が学校近隣から通学しているが、地域の企業についてほとんど知らない。また、商業高校での学習内容と社会との結び付きを意識している生徒が少ない。 (教師の願い) 就職希望者が半数以上いるため、地域の企業に関心をもち、実際に働くことを意識して学校生活を送ってほしい。また、商業高校での学習内容に関心をもち、卒業後に自らがビジネスの担い手の一員になるという意識をもってほしい。

主体的・対話的で深い学びの視点に立った単元構想
<p>本単元において、企業の役割や経営理念について基礎的・基本的な知識を習得した上で、実際の企業を訪問して担当者の話を聞く「企業研究」を実施することで、学習内容と社会とを結び付けて考察させることができると考えた。なお、「企業研究」は、グループごとに異なった企業を訪問させる。</p> <p>まず、事前学習として、「企業研究」で訪問する企業について、その企業の新入社員になったつもりで、個人で調べ学習をさせる。次に、グループの中でペアをつくり、情報を共有させることで、学習意欲や知識量に差のある生徒同士でも、協力して取り組めるよう工夫した。そして、グループ内で調べた内容をジグソー法を用いて伝え合う活動を設定し、自分の役割に責任をもてるよう工夫した。最後に、グループごとに調べた内容をクラス全体で共有させ、それぞれの企業の共通点や相違点を考えさせることで、物事を多面的に捉えられるようにさせたい。また、企業の社会的役割や企業の理念について、生徒一人一人が考え、企業人となる自分自身の将来の姿を意識することができる力を育成していきたい。</p> <p>【主体的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の生徒に役割を設定することで、自分の責任を意識させる。(第3時) 「こんな企業人になりたい」という意識をもたせ、他者の意見や学んだことを参考に企業が社会で果たす役割について考えさせる。(第9時) <p>【対話的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアでの対話を通して、相互の意見を整理・分類させる。(第2時) 自分が担当した企業の特徴についてグループ内でジグソー法を用いて話し合い、企業の特徴をまとめさせる。(第3時) 実際の企業の方と直接話すことで、学習内容と社会との結び付きを実感させる。(第5時、第6時、第7時) <p>【深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業に関する情報を収集し、企業の特徴を取捨選択して必要な情報をまとめさせる。(第4時、第5時、第6時、第7時) 比較する対象を増やし、より広い視野で考えさせる。(第4時)

単元計画						
段階	小単元の目標	時	本時の目標	学習活動	主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業の工夫	育成を目指す資質・能力や目指す生徒像
基礎の学習	・企業について理解する。	1	・企業について理解する。	・企業の役割, 経営理念, 起業家精神について学習する。 ・「企業研究」で訪問する五つの企業のうち, 自分の担当企業を知る。 ・担当企業の新入社員として担当企業について調べる。		・企業の役割, 経営理念, 起業家精神に関する基本的な知識を身に付けている。
課題解決	・担当企業について理解する。	2	・担当企業の調査報告書を作成する。	・担当企業について, 経営理念や特徴などについてペアで調べる。 ・調べた内容を報告書にまとめる。	対ペアで調べ, 情報を共有することで, 互いの不足している部分を補いながら取りまとめる。	・協力して取り組む姿勢を身に付けている。
		3	・担当企業の特徴を理解する。	・前時にまとめた報告書を活用し, グループ内で報告する。 ・担当企業の特徴を模造紙にまとめる。	対1企業を四つの項目に分けて担当し, それをグループでジグソー法を用いて共有することで全体が把握できるようにさせる。	・自分の役割を果たす責任感をもち, 取り組むことができる。
発表と考察	・企業の違いや役割を考察する。	4	・企業の違いや役割を考察する。	・各企業の経営理念や特徴をグループごとに発表する。 ・企業の経営理念や特徴を共通点や相違点を挙げ, その理由を考える。 ・自分が担当する企業の社会的役割について考える。	対1クラスを五つのグループに分けて調べさせた5社について, クラス全体で発表させる。 対比較する対象と理由を増やし, 広い視野で考えさせる。	・多面的に物事を捉えることができる。 ・ビジネスと企業の相互関係を理解している。
発展学習	・「企業研究」を通して学習内容と社会との結び付きを認識する。	5	・「企業研究」を通して学習内容と社会との結び付きを認識する。	・企業の概要, 業務内容について説明を聞く。 ・企業の人に質問をする。	対実際に企業で働いている人と直接話をすることで, 学習内容と社会との結び付きを意識させる。	・学習内容と社会との結び付きを認識することができる。
		6				
		7				
振り返り	・企業の特徴について理解する。	8	・企業の特徴について, 更に理解を深める。	・第3時に作成した模造紙に, 企業研究で得た情報を書き加える。	対自分自身の経験や学んだ知識を他者と共有させる。	
		9	・企業の特徴を発表し, 企業が社会で果たす役割を考える。	・グループごとに発表する。 ・企業が社会で果たす役割についてまとめる。	対他者の意見も参考にし, 自分の意見をまとめさせる。	・卒業後に自らがビジネスの担い手の一員になるという認識をもつことができる。